

E.R.F.C.

Newsletter 2002 vol.2

【清里ミーティング始動！】

清里ミーティング実行委員長の豆蔵です。

先日、清泉寮へご挨拶と下見、そしてスタッフ一同の打ち合わせを兼ねて行って来ました。当日はあいにく朝から梅雨空が広がってはいいたものの、幸いひどい降りにはならず順調に到着。

清泉寮は去年と比べていい意味で変わってませんね。なにはともあれまずは定番通りジャージーハットでソフトクリームを味いながら集合したあとに打ち合せ開始。

そこでなにが決まったか？それは秘密です(おい)。ではなくて、有り体に言ってしまうと去年と変わりはありません。今年もすっかりおなじみの本館ホールをメイン会場とし、去年と同じ第3駐車場を使用することになりました。

午前中はいつも通りゲストのお話を予定(但しゲスト、内容共に未定)。午後はこれまたいつも通り、駐車場を中心にまったりと過ごしましょう。

そして参加ものは今年も「なんでもコンテスト」が開かれます。去年は予想以上に盛況でしたが、今年も多くの参加をお待ちしています。

さらに忘れちゃいけない、名物(?)清里弁当!!今年も例年同様に気合いが入っている模様。

そして今年も降臨するのか?!ジャンケン大王・・・(M;))

そんなこんなでまだまだ準備はこれからですが、いつも通りのイベントとするべく、動き出しました。「11月3日は清里ミーティングへの参加」を予定しておいてくださいね。(No.529 豆蔵)



【清里ミーティング記念Tシャツ、イラスト募集！】

このたび清里ミーティング恒例のTシャツのイラストを募集する事になりました。あなたの描いたイラストがTシャツになってみんなのお土産になる、そう考えただけでもわくわくしませんか?その上採用作品にはご褒美だってあるんですよ。イラストが採用された方は清里ミーティングにペアでご招待!!つまり交通費は自己負担ですが参加費が無料ってことです。ということでみなさん!ふるって応募して下さいね。

● 注意事項

- 原稿サイズは20センチ×20センチ程度、モノクロをお願いします。(黒墨色が望ましい)
- 作品はオリジナルの未発表の物に限らせていただきます。出版物などからの引用はダメです。
- 〆切は8月末日までに下記住所へ郵送してください。デジタル作品などについてはご相談ください。郵送の際は原稿が傷まないように台紙に挟むなどして下さいね。
- 当選結果は直接本人にご連絡します。連絡先と方法を忘れずに、E.R.F.C.のロゴなどはこちらで入れる予定ですが、プリントにあたっての調整をお願いするかもしれませんのでよろしくをお願いします。
- なお、作品は返却できませんのであらかじめご了承ください。また素敵な作品が集まった場合、清里ミーティングで予告無く展示される事もあるのでお楽しみに。もしかしたら採用作品以外にも賞品が用意されるかも!?

【ピクニックオフの報告です！】



去る6月2日、都立小金井公園にて、ピクニックオフが開催されました。残念ながら参加車両三台、7人と少々寂しい人数になってしまいましたが、梅雨前のまだ涼風が心地よい、芝生が広がる公園での遅い昼食は、普段、中々出来ないことなので、気持ちのよい午後のひと時となりました。

少々、集合が遅れてしまったため、遅い昼食を各自が持ち寄ったお弁当を広げてつまみながら、車のことや、日々いろいろな出来事などを話して一通り盛り上がり？少しばかり昼寝も済ませたあとは、この公園に隣接する江戸東京たてもの園をぶらぶらと散策しました。ここは都内にある歴史的に価値ある建造物を集めた屋外型の博物館なのですが、子供

の見たちょっと古い、それでいて少し懐かしさもある道具類なども含めて展示してあります。

何気に見て回っただけなのに、意外と時間の経つのも早いもので、5時には閉園。それではということで、ピクニックオフのほうもお開きとなりました。今回は参加者が少ない集まりになってしまいましたが、こうして気のあった仲間と外で食べるお弁当はとてもおいしいものです。季節がよくなったらまた、みんなで集まりたいですね。(尾張屋@145)

【お便りコーナー】

会員 No.679 の後藤といいます。今年で入会3年目となりますが、イベントには1回しか参加して無い不良在庫会員です。東京は国立市に嫁と二人で住んでおります、宜しくお願い致します。

私のロードスターは今年で10年目、嫁がAT限定なので標準車のATを購入しました。当時は苦渋の選択でしたが、歳とった今では非常にラクチンで気に入っております(笑)ロードスターの前はケーターハム7で、オープンエア歴だけは15~6年程になりました。

結婚してからケーターでは辛いものがあり、泣く泣くロードスターに乗り換えたのですが、今ではその「人車一体」のコンセプト、スポーツ性エンターテインメントには十分満足して



「嫁とオイル交換する」の図(後藤さん)

ます。シルバーで幌ブルー、ホイールはアライフ、リアにクラブステッカーを貼っております。普段は国立、立川近辺を流しているだけですが、見かけたら声を掛けて下さいませ。

もう1台の愛車「いすゞ117クーペ」との付き合いは早25年目(歳がバレますな)渋谷元会長にはこの117の取材の件でお会いしてから仕事面でもお世話になっており、清里スタッフの片貝さんとは勤め先が同じで、たまに会社で御会いしています。片貝さん、愛車手放されるそうで残念ですが、お子様誕生おめでとうございます。

ちなみに私の周りでは「ロードスター+117」の組み合わせのオジサンが結構います。両車、何故かドラポジ(そのタイト感)が似ているんですね。

殆ど買い物用の愛車ですが、他に欲しいと思える車も無く当分付き合いは続きそうです。ただ、ワックスも殆ど掛けず乗りっぱなしですので、流石に最近塗装がヤレてきました。どこか安くて良い塗装屋さん、御存じありませんか?(No.679 後藤敦司)

後藤さん、お便りいただいていたのに掲載が遅くなって申し訳ありません。引越しのドタバタで前掲載せ損ねてしまい、スタッフに指摘されるまで気が付きませんでした。ホントにごめんなさい。

お久しぶりです。No427 松浦です。本日(6/20)通信費振り込みました。遅くなってすいません。さて、私の近況ですが、最近ではなかなかロードスターには乗れずにほとんど2号車のデミオで過ごしています。初めて清里に連れて行った時には1歳だった息子も今年小学5年生になり、すっかり生意気になってきています。今年の清里ミーティングも、また家族で参加しようと思いますのでよろしく願います。(No.427 松浦教悦)

【ロードスター2号ができるまで】前編

約10年間乗り続けてきたロードスターを自分のミスで全損させてしまったあの日から早、1年半が過ぎました。無残な姿になってしまったロードスター...直そうと思えば直る、しかし資金不足で泣く泣く断念。ショックから立ち直る間もなく数日後のクリスマスイブの日に茨城のクラブ「松風」の友人に手伝ってもらい解体。使用できるパーツは全て外し一部は次のオーナーの元へ旅立っていきました。(涙)思えばロードスターとの出会いは衝撃的でした。当時まだ高校生だった私は自動車整備を勉強していたのでクラスでの話題といえば車のことばかりでした。時代は280PS競争。そんな頃だったので必然といえばそうなのですが...そんなある日同級生が持ってきた某雑誌に後ろからのスクープショットが!「マツダからライトウエイトスポーツが出る」「手ごろな値段で誰でも乗れるスポーツカー」そんな内容だったと思います。私はすぐ「これだ!俺が乗る車は!!」、もう一目惚れでした。その写真からも大きさやキュートなルックスも想像できた事が、心の中ですぐ決めた理由になったと思います。まあ、同じクラスの仲間達は皆一様にその記事には否定的な意見が多かったけど。それからの私はその車のことで頭がいっぱいでした。3年生になった9月、近くにユース店がなかったのでロードスターが発売されるやいなや、すぐに兄の知っていたマツダのディーラーまでカタログを貰いに行き毎日のように学校や自宅で眺めていました。その後卒業して1年間ローンの頭金を貯めながらロードスターが来るのを待ち続けたのでした。そんな人生の1/3と一緒に過ごしてきたロードスターがいなくなったある日、「松風」のリーダーから「ロードスター買わない?

さんが置いてったやつ」との電話。その車は元は軽井沢ミーティングで知りあいになった友人の愛車でしたが、2年前の千葉県北部を襲った雹で外装がボコボコになってしまい、帰省の際になおしきれずに置いていき、リーダーに託されていたロードスターでした。「このまま俺がいつまでも預かっていられないし買い手が無ければショップのデモカーのベースになっちゃうよ。それならいっそ知ってる人に乗ってもらいたいのうし...」といわれましたが、さすがにその現状を知っているだけに即答できませんでした。はっきりいって凄惨な状態でした。外装、幌ともほぼ全滅で、有志の援助でドアパネルとフェンダーは中古部品に変えられていましたが寄せ集めの為白黒に。さらにそのままでは恥ずかしいと白の缶スプレーでパー吹きされていたので、もし钣金塗装に出したらいくら掛かるかわからない最悪の状態でした。又、半年前にフォードKAを買ったばかりで財布に余裕もなく正直諦めざるを得ませんでした。半月ほどが過ぎ心の整理もついたらふたたび「今月中にはどうするか決めてね」との連絡が。永年一緒だったものがいなくなるのは寂しいものでこの時私の思いは変化していました。いや、本当は話があったときには既に決めていたのかも知れませんが、「やる!綺麗に仕上げて見せる。すぐには出来ないかもしれないけれど少しずつやれば何とかかなるさ。」ロードスター2号の製作はこうして始まったのでした。.....後編に続く(No.649 長谷川浪次郎)

【ロードスター納車!】

ウチにロードスターが納車された。赤のSスペシャル。といってもこれはペダルカーの話。友人が子供の誕生日日にプレゼントしてくれたものである。私も欲しいと思い、色々探したけれど見つからず諦めていただけに子供よりむしろ私の方が喜んでしまった。友人の話によると、やはり店頭にはすでに無くインターネットのオークションで見つけたそうだ。しかも倉庫にしまってあったというほぼ新品。感謝、感謝。色々な場所で見たいが、こうやってしげしげと見るのは初めて。なかなかリアルによくできている。ただリアルに出来ているがために気になる点がある。それはドアミラーがないこと。ドアミラーが付いたらどんなにかカッコ良くなるだろう。そこでインターネットで探してみると、同社で販売しているニュービートルのミラーがロードスターに付きそうだということを見つけた。さっそくメールで問い合わせしてみると返事が来た。それによると、若干の加工(直径17ミリの穴あけ)をすればもしかしたら付くかもしれない。ただし、それによってボディにヒビが入る等の不具合はお客様の責任において...、ということだった。数日後、請求金額分の切手を買って送った。あとはフロントウィンドウ上端を赤に、ドアノブをシルバーに、幌と内装とサイドシルを黒に塗装すればほぼ完璧。楽しみ楽しみ...って誰のペダルカーだっけの!(まえだ@前副会長)

【ペダルカーはフクザツです！】

6月30日、我が家のロードスターを引き取ってくれた高根君とメーリングリトでお馴染みの梶浦さんが遊びに来てくれました。虎太郎のために赤いロードスターのペダルカーを持って来てくれたのです。虎太郎はとてとても喜んで「アッカイクウマ(赤い車)？コタノ？」と撫で回します。その横で旦那は「あぁ！！手垢がつく！！指紋が・・・」ともったいなさそうに言い、いよいよ慣れて「ブブウ！」と乗り回し始めた虎太郎に「ぶつけるな、傷がつくう！だめだだめだ！」とたちの悪いストーカーのように後をつけ回し無理な注文をつけています。「あのね、もらったのはあなたじゃなくてあなたの子どもなんですよ、旦那さん。」と何度言いかけて飲み込んだことでしょう。しかし虎太郎はそんな事にはお構い無しにどん



ん扱いに慣れてきてペダルをこげないのにパタパタこぎでちゃんと進めるようになって得意顔でガツガツとあちこちにぶつけては旦那青ざめさせているのでした。この日、虎太郎は高根君を高根ニイニイと呼び梶浦さんを梶ネエネエと呼び、すっかり慣れ切って遊んでいました。う～ん。でもなんか変。なんででしょう、この違和感。それはです、高根君のことより梶浦さんの方が良いらしく「高根ニイニイがコタに赤い車くれたね。」と虎太郎に言うといやーの！梶ネエネエの！と答えて一步も譲らない。とにかく何でも梶ネエネエの一本槍なのです。大切なカブセルプラレールで遊ぼうと梶ネエネエに「きて、きて。」とアプローチ。手を引っ張り連れて行き一緒に遊ぶ事を強制します。私や旦那、高根君が話し掛けて梶浦さんが答えようとすると「ダメの！梶ネエネエ！！」と怒る。会話に割り込み梶浦さんに答えさせず強引に独占しようとするのでした。その態度に「面白すぎる！」と最初は大人4人で大笑いしていました。が、帰る時なんか「梶ネエネエ、ありがと。バイバイね。」とご挨拶。そして高根君を黙殺し、挨拶ひとつしやしない！！親は「高根君ごめんねえ」と平謝り。高根君は「いいんですよ。」とは言ってくれたものの本当にごめんなさい、という感じだったのでした。でもね、これってさ～、どういうことだと思います？やっぱりどんなに小さくても男の子は男の子ってことなのかなあ？どこのうちの子もこんな感じなのか？母としてはフクザツ～。その上旦那はペダルカーを息子と取り合ってお子様になっちゃうし妻としてもフクザツなさっちゃんなのでした。でもね、ペダルカーはカッコいいしなかなか素敵ですよ。今年の清里にも持っていきたいなあって思っています。それまでにペダルカーが旦那の「改造ドレスアップ」の犠牲になっていないといいんですけど、神のみぞ知る！かな？(さっちゃん@まえだ妻)

【パパ・ヒラグチの「日々是開幌」】その1「人間万事塞翁が人馬一体」

93年に初期型から乗り換えて以来毎日のように乗り続けてきたわがNA6(後期型)ですが、昨年3月、不慮のエンジンプローをやってしまい「心臓移植」する羽目になりました。これまで諸事情と成り行きでユーノスを仕事上の移動手段としても使っていたので使用不能状態を余り長く続けるわけにも行かず、取り急ぎエンジン換装を決めましたが、正直言ってこのまま仕事のために乗り潰す様なことにはしたくないと思い、勤務先に申し入れて協議の上、カペラワゴン(GW 最終型)を増車しました。カンパニーカーなので維持費、関連経費は全て会社持ち且つ私用OKという好条件で、かねてからもっとユーティリティの高い車へという家族の強い要望もあり、ユーノスの存続も危ぶまれていたところだったので、図らずも「禍転じて福と為す」もしくは「転んでも只では起きない」という故事の凡例のような結果になりました。エンジンの方はいつも見ていただいているメカニックの方から「某チューニング屋に下取りで入ってきた1000キロ位しか走ってないウブいショートエンジンがある」というのをお世話していただき、ついでに走行11万キロにして初めてのクラッチプレートとベアリングの交換をしました。ともあれユーノスは趣味のため専用にすることが出来ましたので、これから少しずつ今までやりたくても出来なかったことや永年の酷使によるヤレ等の気になるところに手を入れたり(もちろん家計を圧迫しない範囲ですが)、いろいろやっていきたいと思っています。

エンジン換装のほとぼりもさめた？今年6月、車検整備に合わせ納車以来そのままになっている足回りをリフレッシュするべく、サスペンションとサスブッシュの交換を計画しました。作業は「心臓移植」の時にもお世話になった「SIFO 横浜ファクトリー」の神田さんをお願いしました。「SIFO」といえばルノースポールを始めとする濃い

フランス車の店ですが、実は神田さんは元々マツダ系のメカニックで、レギュレーション変更になる昨年まで日光のロードスターカップに参戦していたほどのロードスターファンです。クリオやスピダーなどに携わる現在でもご自身の趣味趣向でロードスターを見てくれています。神田さんとの何回かの相談の結果、今回のメニューは「足回りの初期化プラスアルファ」を目的に、強化ブッシュ・強化アッパーマウント・街乗り中心及多少はわるさ出来る程度に適度な硬さのコイルオーバーへの交換とそれに伴う4輪アライメント調整ということにしました。使用部品は費用と効果のバランスを検討しながら(どちらかというと予算圧縮寄りですが)また、私のような下手の横好きにも必要十分という条件で以下のように選定しました。

ブッシュ類・アッパーマウント:新見工業 プロスペックシリーズ
ダンパー:KONI SPORT(Cリング・減衰力調整式)
コイル:オートエクゼ ローダウンスプリング
(パネレート F3.2K/R2.6K)
バンプストッパー・ダストブーツ:NA 用標準部品



作業の足手まといになるのを承知で厚かましくも分解したアームを清掃・塗装させてもらうことにし、作業を見学しながら待っていると、神田さんは自作の脱着用ツールと油圧プレス機を使い分けて手早くブッシュを抜いていきます。さすがに手慣れたものです。外されたアームを受け取って、脱脂系のパーツクリーナーとワイヤーブラシで清掃し、シャシーブラックの缶スプレーで塗装しましたが、一見新品かと思えるほどきれいになりました。そして乾いたところを見計らってブッシュの組み込みへ。新見工業のブッシュはメタルのスリーブ部分の外径が大きくな



っていて剛性が高そうに見えます。アーム嵌合部の内径よりブッシュのツバの方が大きく(標準品も形状は一緒ですが)、圧入にはなかなかコツがいりそうに思いました。取り外しだけなら自分でも何とかやれそうですが、組むときは高価な部品を破損するリスクが大きいと思われ、経験豊富な方をお願いして正解でした。(参考のため自宅近くのディーラーで聞いてみましたが、ブッシュ交換はASSY交換=アームごと以外過去に実績が無く自信がないといわれました...)アームを組み付けたら次はサスの交換です。今回いろいろなサスキットを検討しましたが、車高調整式はどれも高価なものと標準に比べてずいぶん硬

すぎるように思ったので、ノーマル形状のものの中からこの組み合わせに決めました。KONI はピストンロッドの径が太いためアッパーマウントの貫通部をリューターで少し削って調整しました。取り外した純正サスはみごとに抜けきっていました。ステアリングインフォメーションというにはあまりに激しい手ごたえだとは思っていましたが案の定でした。この日の作業はサスを組み上げるところで終了となり、アライメント調整はおまかせでお願いしました。数日後でできあがりに合わせて取りに行き、神田さんに仕上がり具合を尋ねると、アライメントデータと一緒に「はっきりいって『使用前』・『使用后』ぐらいの違いですね」とのお言葉が...見れば思ったほど車高も下がっていないのでほっとしつつ早速乗ってみると、各部の微小なビビリはさすがに残っていますが全体的には剛性が上がったかのようなガッチリ感がでています。剛性という点で言うと、丁度エンジン換装で入庫の折りにレンタカーでNB2を借りてしばらく乗って見ましたが、直接比較すると全然違うかもしれませんが、印象的にはそのときの感触に近いものを感じました。減速時の姿勢変化も随分小さくなっているようで、前輪側のバネが少し硬めかなという気もしましたが、この状態でもきちんと曲がってくれますし、各部の物理的な馴染みもまだこれからですので少し走り込んで様子を見ようかと思えます。(No.26 パパ・ヒラグチ)



減速時の姿勢変化も随分小さくなっているようで、前輪側のバネが少し硬めかなという気もしましたが、この状態でもきちんと曲がってくれますし、各部の物理的な馴染みもまだこれからですので少し走り込んで様子を見ようかと思えます。(No.26 パパ・ヒラグチ)

【食玩マニア】

最近、コンビニやスーパーのお菓子売り場がおもちゃ売り場のようになっているのをご存知でしょうか？数年前から出回り始めたのですが 200～300 円ぐらいの価格で立派なフィギュアにラムネがおまけでついている(実は逆なんですけど)箱が各種並んでいます。これが誰が呼んだか「食玩」って呼ばれてるヤツです。

我々が子供の頃からグリコを始めとしたおまけつきお菓子は定番でしたし、おまけとお菓子とどっちが主役かわかんないようなのも昔から「ビッグワンガム」とかがありました。

でも、最近のは出来がずいぶん良くなっています。と言うか、ラインナップも明らかに子供向けではなく、我々大人世代を狙ったものが増えています。だってサンダーバードや未来少年コナン、果ては世界の戦車と軍用車両のシリーズなんてそうそう子供が欲しがるとも思えませんよね(^_^)。最近のブームを本格的にしたのはチョコエッグ、そしてその原型を作っていた海洋堂にあるのは有名な話で…云々。

ま、興味のある方はだまされたと思ってひとつ買ってみてくださいいな。(もっとも、製品によってはほんとにダメされた！と感じるものが無いわけではありませんが…)

で、ここから本題。この春、ガイドーのデミタスコーヒーに概ね(笑)1/100 のミニカーがもれなくおまけについていたことをご存知でしょうか。コンビニ限定だったのですが、缶の上にキャップ状のケースがついてその中に一台のミニカーが入っていました。10 車種各2色のラインナップにはコーノスの赤と青も含まれており、コンプリートを目指して買いあさった人も多いと聞きます。私はもちろん…配送されて未開封のものを見つけて箱ごと買っちゃいました。(^^)

で、今、そのシリーズの第2段として前回分10車種の色違いバージョンと新作3車種をそろえてのプレゼントキャンペーンが展開されています。応募期間は9月末まで。但し、対象賞品がなくなり次第終了とか。

前は必ずもらえたのに大して今回は缶のシールをめくると1万人に当たる抽選方式だそうで。今回は箱買いを控えている私はもちろん、箱買いした人たちからもまだ当りが出たとの話は伝え聞いておりません。(^^)誰か幸運にも当てた人がいたら是非自慢の報告を。(^^)(No.529 小関“豆蔵”秀樹)

【スタッフ紹介の続き…】ごめんなさい、これも前号の掲載漏れです…。(ひ)

涉外:渋谷康人

会長だったのは遙か昔、今では「怪鳥」とか「ご隠居」と呼ばれている「涉外」担当のしびやです。このクラブは十ウン年前、まだ私が前途ある 20 代だった頃に、「本家・怪人」の世界的芸術家&ジャーナリスト、坂本正治さんのアイデアから始まったのですが、私にはかような超人的オーラはななく、ただヤクザなモノ雑誌の編集者として、皆様の厳しくも暖かいご配慮の下で怪しく活動しています。長くのーんびりロードスターがきっかけの、肩の凝らない交流を「何が起きてもチャランポランで楽しめる大人の寛容」で楽しんで頂ければ幸いです。ちなみにレディースの皆様、今年の目標も、和田電脳大臣のような幸福な結婚です(はい)。(No.108 渋谷康人)

【編集後記】

リニューアルした会報第二弾です。前の会報とは体裁がだいぶ違うので、最初はちょっと読みにくいかもしれませんが、前回は長兼編集長が書いていたように、長い目で見てください。よろしくお願ひいたします。

ところで、会報印刷担当して 2 回目ですが、印刷には最悪の季節を迎えました。というのも、都内の住宅密集地に住む私ですが、プリンタのある部屋にはエアコンはおろか扇風機さえありません。今も汗だらだらと流しながら書いてます。外に出ると風もあって多少涼しいのですが…。女性としては、これで痩せる？なんて淡い期待も抱いたりしてますが、それよりも、あせもが心配。いい年をして、今年は何年ぶり(何十年ぶり?)かのあせもに悩んでおります。体調の変化でしょうか？皆様もお気をつけください。(高橋@金庫番(ち))

うっとうしい梅雨ももう少して終わりそうです。…と思ってたら名古屋気象台が梅雨明け宣言をしたとテレビで言っていました。梅雨が終われば暑い夏。みなさん、日射病にはご注意ください。ぼくは以前、真夏の渋滞で日射病になったことがあります。海水浴に行った後、エアコンを最強にしてもぜんぜん冷えなかったなんてこともありました。そりゃ、黒い幌一枚の屋根じゃ、たいした断熱効果は期待できませんからね。

そういえば足グルマにボリバケツみたいな色のミニを買いました。清里の下見に乗っていったんですが、上り坂が続くとけっこうつらいです。その上、高回転を続けるとウォーターポンプから水が漏れるようで、オーバーヒートしました。清泉寮の駐車場で2L のペットボトルいっぱいの水を飲み込んだんですが、帰ってきたらまた空っぽ。そのあと人間もオーバーヒートしちゃったんですけどね…。(No.590 ひでまる)

